

## 事業名 ( 東久代むつみ産直市場 )

<b>団体名</b>	東久代むつみ自治会			<b>代表</b>	安芸 宏美	
<b>協働団体</b>						
<b>活動地域</b>	川西市					
<b>事業の目的・趣旨</b>	<p>当地区は、伊丹空港の航空機騒音対策の移転補償事業により地区人口が減少、商業店舗が廃業・移転した経緯があり、近年、住民の高齢化や単身世帯化が進んでいる。一方で、食材・食品を販売する利便施設の誘致等を含む、市の南部地域整備実施計画が進展しない中、地域住民（自治会）が主体となり、当地域を含めた東久代地域の活性化、高齢化による「買い物難民」対策、多世代の新旧住民のつながりを支える地域交流スペースづくりを目的として、地元農家の協力を得る等した野菜・果実・生鮮食材等を取り扱う「産直市場」を3年前に開設。住民自主・持続的な運営の維持に努めている。</p>					
<b>事業内容</b>	<p>◆原則、毎土曜 8～10 時、自治会館隣接の広場（市有地を無償貸与）で「東久代むつみ産直市場」を開催。買い物難民対策、住民交流の場を設ける。</p> <p>◆取扱品目は、久代地区の地場野菜、いちじく等の地場果物、タケノコ等の旬の農産物をはじめ、近隣製造事業者によるパン、豆腐類等の直販協力、西宮中央卸売市場にて自治会リスクで仕入れた日用食材や野菜、果物類を低価格で販売。</p> <p>◆産直市場の開催中、隣接の自治会館を開放し、お茶、コーヒー、茶菓等のセルフサービスを実施し、地域・利用者交流の場を設け、住民の生活・福祉相談等も随時行う。</p> <p>◆市場終了後は協力生産者や運営メンバーが持ち寄り食材等で昼食会を実施（不定期）し、地域課題や運営の意見交換等を行うなど住民相互の親睦を深める。</p> <p>◆参加・利用者数は、運営・地域住民ら毎回約 80～100 人（実績）</p> <p>◆今年度は地元小学生の学校菜園即売コーナーを開設し、児童による販売体験を計 6 回実施。</p>					
<b>事業スケジュール</b>	<b>実施日（年-月-日）</b>		<b>事業概要</b>		<b>参加人数（人）</b>	
	2	5	9・16・23・30	◆2020 年度は左記通り「産直市場」を開催・実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため 5 月 4 回は中止）	各回 13～14 人が 参加	各回 約 80～ 100 人 来場
		6	6・13・20・27			
		7	4・11・18・25			
		8	1・8・22・29			
		9	5・12・19・26			
		10	3・10・17・24 ・31			
		11	7・14・21・28			
		12	5・12・19・26			
			(太字は久代小児童販売体験実施日)	◆「産直市場」終了後、協力者や運営ボランティアで持ち寄り食材等による昼食会を開催（不定期）し、運営や地域課題等の意見交換、親睦を深めた。但し、本年度は感染症感染拡大防止のため多人数での会食（昼食会）及び 3 密での交流会は原則中止とした。		
3	1	自主事業	◆本年度は産直市場納涼祭を中止（感染症拡大防止）			
	2	自主事業				
	3	自主事業				
	4	自主事業				
			◆本年度は新たな取組みとして、地元の久代小児童による学校菜園即売コーナーを開設し、販売体験を 6 回実施した。（児童・保護者・引率教諭含め毎回約 20 人参加）			

<p><b>事業効果</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆高齢化による「買い物難民」支援。歩いて行ける産直生鮮食料品等の販売所づくり。</li> <li>◆新旧住民のつながりを支える地域交流スペースづくり。</li> <li>◆東久代地域の活性化。近隣地域住民や自治会交流の拠点づくり。</li> <li>◆地域の高齢者、高齢単身者の生活・福祉相談スペースづくり。(地区福祉委員の協力)</li> <li>◆自治会の持続的な運営基盤や人材の確保・発掘・育成。</li> <li>◆地域の生産農家、事業者等との協働の場づくり。</li> <li>◆地元小学校児童の地域社会・生活体験学習の機会提供、多世代住民交流の促進。</li> </ul>
<p><b>課題及び今後の展望</b></p>	<p>上記の事業効果があり地域まちづくりの活性化が促進された。本年度は新たに地元の久代小児童による学校菜園即売コーナーを開設、販売体験を計6回実施し好評であった。地域と学校の連携、地域多世代交流の具現化として有意義な取組みであった。一方、新型コロナウイルス拡大の影響から事業回数・規模・一部企画の中止・縮小を余儀なくされた。産直市場の売上減少により運営・人件費の原資が減少しその対策に迫られる等、新たな課題を認識する年度となったが、今後も自立持続的な運営の維持に努めたい。そのためには、市の地区整備実施計画との整合を図りながら、買い物等の住民利便施設の誘致など地域課題を解決する市計画の確実な実施を求めつつ、本事業成果を踏まえ、地域のつながりを一層深め、新たなまちづくりの担い手の発掘に努める等、住民自らによる主体的な取組みを継続的に進めていきたい。</p>

(活動状況写真)



自治会員による販売



久代小児童による販売体験



地域課題意見交換会・親睦会



本年度補助金を活用し新たに制作したのぼり旗 (W2650 x H1900mm/set) と活用した様子 (東側売場)

団体名 東久代むつみ自治会

団体設立 西暦1971年4月1日

活動分野 まちづくり・住民福祉向上・住民自治

設立目的 川西市東久代むつみ地区(東久代2丁目)居住の自治会員相互の親睦を図り、防火、防災、防犯、その他不慮の災害を未然に防ぎ、住民福祉の向上により、明るく住みよいまちづくり、地域の住環境を作ることを目的に設立された住民自治団体です。

**事業名** ( 高平地域耕作放棄地活用活動 )

<b>団体名</b>	NPO 法人 里野山家	<b>代表</b>	佐藤 秀一
<b>協働団体</b>			
<b>活動地域</b>	三田市高平地区		
<b>事業の 目的・趣旨</b>	<p>高平地域は三田市の里山地域に位置しています。美しい里山が広がる地域ではありませんが、昨今は高齢化による耕作放棄地の増加、農の担い手不足、少子高齢化が地域の課題として挙げられています。</p> <p>NPO法人里野山家はこういった地域の課題を解決すると共に、地域に新しい風を吹き込まんとし、従来の里山整備活動に加え、「ふるさと楽農部」を新設し、耕作放棄地を活用した取組を行っています。都会の人々と地元の子育て時代の家族が、一緒に米作りや、野菜作りを行うことにより、人と人とを繋ぐ場を提供することを目的に活動しています。</p> <p>また、毎年行われる地区の一斉清掃に、これらの街の人たちが地元の人達に交じって参加することで、地元の農家からは非常に元気が出ると言って喜ばれています。</p> <p>これらの活動に参加する人が地元を歩いていると、地元の人達が、どこから来たんや、何を植えているのかなどといろいろ聞いてくれるようになりました。この現象は、外部者に対して閉鎖的と言われる地域の人々の心の活性化といわずして何と言えるでしょうか。</p> <p>これらの活動を推進している私たちは、この輪を更にもっと大きく広げていこうと、このプロジェクトの更なる夢を描いています。</p> <p>当事業の参加者の一人は、自分たちが作る高平産の小麦粉、蕎麦粉、米粉のセットを生み出そうと計画し始めました。また、耕作放棄地に蜜蜂の蜜源となるレンゲや菜の花を植えて高平産の蜂蜜を生み出そうとしています。</p> <p>また、この輪が広まるにつれ、大阪の街から参加の人、豊中から参加の人、川西から参加の人、神戸市から参加の人が当地域に引っ越したいという人も生まれつつあります。</p> <p>今後は高平地区に農業体験民泊施設を開き、東京や大阪からの農体験希望者も募り、農体験型移住促進の取組を行っていこうという計画を立てています。メンバーの一人が実際に田んぼ付きの農家を購入して実行に移しつつあります。</p> <p>将来的には、自主財源による運営を目指すとともに、当地域の耕作放棄地や里山をより価値あるものとしてブランディングしていきたいと思えます。</p>		
<b>事業内容</b>	<p>耕作放棄地を活用して、一年間の米づくり、季節ごとの野菜づくりを行い、参加者同士の交流が図れる機会を提供しました。楽しんで農に触れることを目的とします。</p> <p>参加者は高平地域住民と、三田市街地、神戸市、宝塚市、西宮市、豊中市、大阪市など阪神間の都市部の住民です。</p> <p>参加者は3歳から75歳までと幅広い年代の方が参加しました。子育て時代の家族、学生もいらっしやいます。</p> <p>活動日は、基本的に毎月第二、第三日曜日ですが、平日は仕事や会社で参加できない人もいますので、各人がやれることをやるというスタンスで行っています。</p> <p>そして、この活動を通じて農薬や化学肥料を使わないで作る米や季節の野菜の作り方について、お互いに知恵と心をつなげて実学します。</p> <p>そのうえで、里山の田や畑の荒廃を少しでも食い止めることも事業の目的です。</p>		

	実施日（年-月-日）		事業概要	参加人数（人）	
				スタッフ	来場者等 参加者
年間 スケジュール	2020	4 26	夏野菜の定植、ゴボウの種蒔き、苺の電柵囲み	2	8
		4 29	糯米（やまふく餅）の選別と浸水、糯米田横竹林伐採	2	10
		5 10	小松なの定植、かぼちゃの元肥入れ	2	3
		5 12	かぼちゃの行灯立て、草刈り	2	3
		5 16	餅米の幡種	2	10
		5 17	西瓜の苗定植	2	7
		5 20	薩摩芋植え付け	1	4
		5 23	田んぼ代掻き	1	1
		5 24	ミニトマト定植、オクラ種蒔き	2	6
		5 27	ぼかし肥料づくり	2	5
		5 30	糯米田んぼ畦塗り、草刈り	2	4
		6 4	米づくりぼかしほぐし	2	8
		6 6	うるち米田植え（田植え機）	2	8
		6 7	うるち米田植え（手植え）	6	42
		6 8	小麦収穫	2	8
		6 10	里芋植え	2	5
		6 13	糯米田んぼ横竹林整備	1	2
		6 14	黒豆幡種	2	13
		6 20	「養蜂ワークショップ」	4	36
		6 21	田んぼ田せり機かけ（フィットネス田んぼ）	1	3
		6 21	畑防虫網かけ	2	3
		6 24	小麦収穫	2	4
		6 27	糯米田植え	2	18
		6 28	西瓜畑防虫網はり	2	6
		7 2	黒豆定植	2	8
		7 12	かぼちゃ畑の草刈り、ジャガイモ収穫	2	12
		7 16	夏野菜畑の電柵張り	2	2
		7 21	バインダー掃除	2	3
		7 26	糯米田んぼ田せり機かけ、畦の草刈り	2	14
		7 31	西瓜畑管理作業	2	2
		8 1	米の田んぼの畦の草刈り	2	3
		8 9	黒豆と里芋の畑草刈り、黒豆の土寄せ	2	6
		8 10	麦脱穀	2	19
		8 22	麦糲摺り	2	4
		8 23	米田んぼの草刈りと畦の草抜き	2	17
		8 30	麦の脱穀と製粉	2	10
		9 1	ぼかしづくり	2	6
		9 13	冬野菜定植	2	6
		9 16	〃	2	5
		9 21	米田ひえ取り、稲木作り、稲刈り（バインダー）	2	7
		9 22	稲刈り（バインダー）	2	18
		9 27	〃	2	12
	10 5	畑ぼかし施肥、サニーレタス、青梗菜定植	2	1	
	10 6	稲刈り（コンバイン）	2	9	
	10 10	稲架がけの稲の脱穀、稲木片付け	2	5	
	10 11	黒豆と里芋畑の草刈り	2	20	
	10 16	米田んぼに稲藁粉碎を散布	2	4	
	10 18	糯米稲刈り（手刈り）	2	20	

	11	1	薩摩芋収穫	2	18
	11	8	玉葱定植	2	8
	11	15	野菜畑草抜き、いちご畑畝づくり	2	4
	11	22	晩成玉葱定植、冬野菜畑の草抜き	2	12
	11	29	黒豆の収穫	2	10
	12	6	ニンニクの移動	2	5
	12	13	農業倉庫の片付け、エンドウ豆の畝づくり	2	13
	12	20	冬野菜収穫、ビニールハウス内での黒豆拾い	2	7
	12	22	ブルーベリーの苗木の定植	2	5
	1	9	2021年度の作付け計画相談会	2	8
	1	10	黒豆脱穀	2	8
	2	3	味噌づくりワークショップ	2	13
	2	7	味噌づくりワークショップ	2	12
	2	14	玉葱追肥	2	14
	2	24	えんどう豆のネット張りエンドウ豆の支柱立て	2	7
	3	14	夏野菜種蒔き、里芋の芽出し	2	15
	3	27	じゃがいも定植	2	7

<b>事業効果</b>	<p>三田高平の耕作放棄地を活用して、都市の住民と地元の住民と一緒に楽しく農業を営むことにより、だんだんと気持ちを通じ合うようになりました。そして、皆が楽しくやっている姿を見た近所の方からも頻りに声を掛けて貰えるようになりました。今まで耕作放棄地だった畑や田んぼも蘇り、里山の風景も少し護れたかなと思います。</p>
<b>課題及び今後の展望</b>	<p>この活動を三田市のニュータウンの皆さんにお知らせして、当事業の周知を図っていただけらと思います。</p> <p>今後の展望としては、当事業の参加者の一人から、生産物の加工品を生み出していこう、田植えや稲刈りをイベント化してもっと多くの人の交流の場づくりを考えていきたいと話しているので、その活動も応援していきたいです。</p>

(活動状況写真)

田植え



稲刈り



黒豆種蒔き



蜂蜜ワークショップ



団体名 NPO 法人里野山家

団体設立 西暦 2016年 1月 15日

活動分野 里山整備耕作地活用農業

設立目的

「三田の宝」と呼ばれる三田市高平地区の里地、里山を舞台に自然風景の保護をも兼ねて、参加した人達で美味しい農作物や蜂蜜のような生産物を生み出す活動を通じて、人と人との絆を紡いでいける機会を提供する。

**事業名** ( ~輝く未来のために~ )

団体名	市民活動団体ハッピーオアシス	代表	森下 正子
協働団体			
活動地域	三田市		
事業の 目的・趣旨	<p>三田市民が生活に役立つ様々な情報を得る事で、安心・安全に生活できることを目的としています。</p> <p>また、地域の人材を活かし、三田市には輝いている人が住む街として市外にPRすることを目的として活動しています。</p>		
事業内容	<p>健康、居場所づくりなど、専門的なスキルを持った方々による無料セミナーを開催しました。</p> <p>また、各セミナーについては、動画撮影し、SNS等を活用して広く発信しました。</p> <p>また、Youtubeにあげた動画のリンクをQRコード化し、チラシから直接動画を閲覧できるようにしました。</p> <p>(セミナーの内容)</p> <p>① 体づくりセミナー</p> <p>② 自分らしく居られる居場所とは</p>		
事業 スケジュール	実施日(年-月-日)	事業概要	参加人数(人)
			スタッフ 来場者等 参加者
		別紙「資料1」、「資料2」参照	

## 事業スケジュール（体づくりセミナー）

実施日	事業概要	スタッフ	参加者など
2020.7.20	撮影（小西）／	1	1
7.25	原稿入稿	1	
8.1	動画投稿・チラシ配布	2	
8.20	撮影（小西）／	1	1
8.25	原稿入稿	1	
9.1	動画投稿・チラシ配布	2	
9.20	撮影（小西）／	1	1
9.25	原稿入稿	1	
10.1	動画投稿・チラシ配布	2	
10.20	撮影（小西）／	1	1
10.25	原稿入稿	1	
11.1	動画投稿・チラシ配布	2	
11.20	撮影（祝原）／	1	1
11.25	原稿入稿	1	
12.1	動画投稿・チラシ配布	2	
12.20	撮影（祝原）／	1	1
12.25	原稿入稿	1	
2021.1.10	動画投稿・チラシ配布	2	
2.1	原稿入稿（まとめ）	1	
2.10	チラシ配布	2	



## 事業スケジュール（自分らしく居られる居場所とは）

実施日	事業概要	スタッフ	参加者など
2020.8.20	撮影（村瀬・中岡）／	1	2
8.25	原稿入稿	1	
9.1	動画投稿・チラシ配布	2	
9.10	撮影（金子）／	1	1
9.15	原稿入稿	1	
9.20	動画投稿・チラシ配布	2	
〃	撮影（村瀬・中岡）／	1	2
9.25	原稿入稿	1	
10.1	動画投稿・チラシ配布	2	
10.10	撮影（金子）／	1	1
10.15	原稿入稿	1	
10.20	動画投稿・チラシ配布	2	
〃	撮影（村瀬・中岡）／	1	2
10.25	原稿入稿	1	
11.1	動画投稿・チラシ配布	2	
11.10	撮影（金子）／	1	1
11.15	原稿入稿	1	
11.20	動画投稿・チラシ配布	2	
〃	撮影（村瀬・中岡）／	1	2
11.25	原稿入稿	1	
12.1	動画投稿・チラシ配布	2	
12.10	撮影（金子）／	1	1
12.15	原稿入稿	1	
12.20	動画投稿・チラシ配布	2	
〃	撮影（Saholちゃん）	1	1
12.25	原稿入稿	1	
2021.1.10	動画投稿・チラシ配布	2	
2.1	原稿入稿（まとめ）	1	
2.10	チラシ配布	2	

<p>事業効果</p>	<p>これまでは公共施設にてセミナーを行ない、来場者にしか情報を提供できませんでした が、今回は SNS・DVD 等を活用して広く発信したため、より多くの方に情報を提供することが できました。</p>
<p>課題及び 今後の展望</p>	<p>今後は、作成された DVD をより多くの方に見てもらえる様に、工夫して広報を行う必要が あると考えています。</p>

(活動状況写真)



動画撮影風景 (体づくりセミナー)



作成した DVD



Youtube チャンネル

団体名 市民活動団体ハッピーオアシス

団体設立 西暦 2011 年 6 月 1 日

活動分野 まちづくり

設立目的

個々のスキルを活かし、地域活性化に取り組む事を目的とする。

事業名		「高平ふるさとマップ」で地域おこし				
団体名	高平郷づくり協議会			代表	岡田秀紀	
協働団体	高平子ども会・高平地区ふれあい活動推進協議会					
活動地域	三田市高平地区					
事業の目的・趣旨	高平14地区の自然や歴史・文化等を掘り起こし住民や後世に伝えて活用してもらって高平を再発見するきっかけとして高平を住んで良かった。住み続けたい。住んでみたい地域にする。					
事業内容	高平郷づくり協議会の中核5部会(交流・生涯学習部会)が中心となり、地域在住の長老を中心(指導者)として、14地区を巡って史跡や神社仏閣あるいは民話等を地図に落とし込む作業を行う。巡回時には写真を撮影して出来るだけ視覚にも訴えて興味感心を高められるように工夫する。					
事業スケジュール	実施日(年-月-日)			事業概要	参加人数(人)	
	スタッフ	来場者等参加者				
	2	7	5	スケジュール等の打ち合せ	3	
	2	7	26	初1回現地調査	3	
	2	9	6	オ2回	3	
	2	10	18	オ3回	3	5
	2	11	1	高平SANPOウォーク"打ち合せ"	5	4
	2	11	8	高平SANPOウォーク"実施"	5	52
	2	11	22	マップ原稿最終チェック	3	2
	3	1	14	運営委員会最終承認	2	15
	3	2	1	印刷業者に発注	1	

事業効果	行政が作成したマップとは一味違った住民同線(草の根活動)でのマップが完成し、自分の住む地域は元より、他地域も知る事が出来た。
課題及び今後の展望	今回の千部作成については補助金を頂き完成に至ったが、数年先にはゼロとなる。その時にどうするのが課題。



高平SANPOウォーキング  
(準備体操)



史跡調査  
(中谷様のお話し)

団体名

高平郷づくり協議会

団体設立

西暦2015年6月27日

活動分野

地域活動

設立目的

高平地区を、住んで良かった郷、住み続けたい郷、住んでみたい郷を目指して、生き生きとした元気な地域を創る。

## 事業名

(安心して住み続ける地域づくり、見守りあい笑顔があふれる街づくり)

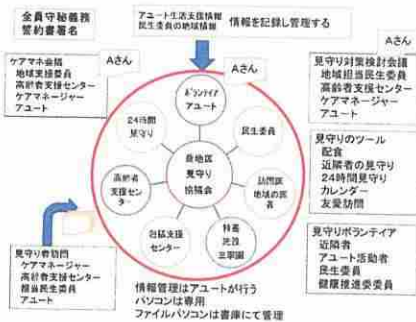
団体名	特定非営利活動法人 ボランティアアユート		代表	今井昭夫	
協働団体	つつじが丘小学校区街づくり協議会及びふれあい活動推進協議会				
活動地域	三田市内				
事業の目的・趣旨	<p>三田市周辺の住民の福祉活動に関する事業を行い、高齢者や身体の不自由な人の通院や買い物などの外出介助、生活環境の整備などのお手伝いをするにより、誰もが安心して暮らせる街づくりに寄与することを目的としています。主な活動として、外出支援や生活支援(ちょいボラ)、ふれあい喫茶[認知症カフェ]、高齢者や身体障害者などの介助が必要な高齢者の生活支援や居場所づくり、支援活動(サロン活動)を実施しています。</p> <p>また、災害発生時の高齢者や障害者などの援護を必要とする方の援助・支援活動を行うほか、防犯体制(わんわんパトロール)を設けることにより、地域の見守り活動を行っています。</p> <p>現在は、ボランティアの協力のもと、地域活動を実施していますが、今後は関連機関と連携を深めるつつ、自立的な運営体制の確立に努めたいと考えています。</p>				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>見守り藍隊会議の開催・・・毎月月末の火曜日 14時～16時まで開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者:学校小中学校校長、高齢者支援センター、ケアマネージャー、子供政策課、民生委員児童委員、医者、調剤薬局、三翠園(特別高齢者介護施設)、障がい者ケアマネージャー、ふれあい活動推進協議会、区長自治会長等</li> <li>子どもから高齢者で困っている方の情報交換会、</li> </ul> </li> <li>認知症カフェ”ふれあい喫茶ひろば”毎週土曜日 10時から12時まで実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>コーヒーなどの飲み物に軽食と100歳体操実施 ・歌声喫茶や交通マナーの研修会</li> </ul> </li> <li>生活支援・外出支援・・・通院や買い物の送迎会員130名月100回送迎実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>配食サービス(見守り)6件実施、ちょいボラ(生活支援見守り活動)</li> </ul> </li> <li>子ども食堂(あい子供サロン)月2回実施参加者40名幼稚園児から中学生</li> <li>広報活動強化・・・機関誌発行・ホームページを開設する。地域に活動の意義や活動の内容の理解と見守りの重要性の理解を深める。</li> </ol>				
事業スケジュール	実施日(2年6月1日)		事業概要	参加人数(人)	
				スタッフ	来場者等参加者
	2020	5	ホームページ作製検討委員会	5	0
		6	ホームページ作製に当たり森下氏の開発契約	3	0
		1	三田にて打ち合わせ	1	
		8	ホームページの作成依頼と編集の指導を受ける試作	10	
		8	10 作成後街づくり協議会のホームページ三田市のホームページに記事を載せた	5	
		7	2 こうみん塾の案内作成及び実施	5	10
		7	26 団体傷害保険加入 ボランティア及び利用者対象	7	250
			26 保険業者との契約三田市社会福祉センター	1	1
		9	5 鳥取市から研修ホームページ	5	30
			安全運転適性検査	10	30
			ボランティアアユートの紹介チラシ作成	5	
		10	15 デイサービスレクレーション講習会(三翠園)指導	5	35
		12	25 子ども食堂の活動とボランティア募集チラシ	5	
2021	1	15 会計システム年契約導入	1		
2021	1	24 次年度の通所B型デイサービス三田市と交渉	2	2	
2021		28 機関誌発注	6		
	1	30 活動拠点のつつじ交流広場使用契約	1		

<p><b>事業効果</b></p>	<p>当団体のHPを新たに作成したところ、HP経由で多くの検索流入がありました。 また、当事業の活動について、多くの方から問い合わせがあり、地域活動を参考にしたいので講演の依頼、三田市生涯学習からも講演依頼そして鳥取市から研修に來られ地域づくりの参考に40名の方が來られました。また、阪神北の研修会でパネラーの要請やボランティアの申し込みが寄せられる等、大きな反響がありました。</p>
<p><b>課題及び今後の展望</b></p>	<p>現在は、人材の発掘が大きな課題になっています。 誰でもが運営できる仕組みづくりと、有料ボランティアの仕組み作りのための、資金調達の活動が大きな課題です。福祉活動は収益のみを目的とする性質のものではありませんが、事業収益で自立的に運営できる体制の構築が必要と考えています。 今回、通所B型のデイサービスの委託事業の活動ができるようになりましたが、より地域住民のニーズに沿った活動を行っていききたいと思います。</p>

(活動状況写真)

別添の機関紙を参照ください。

- ① 藍地区見守りあいたい会議  
毎月このメンバーで情報交換会議



- ③ 外出支援・ちょいボラ



- ① 認知症カフェ  
毎月土曜日 10時～14時  
2021年度通所B型デイサービスに移行



鳥取からの研修  
アユートの活動について



こうみん塾子ども食堂



団体名 特定非営利活動法人 ボランティア アユート

団体設立 西暦 2021年 2月9日

活動分野 福祉活動

設立目的 地域福祉の充実  
安全で安心して住み続けることのできる地域  
子どもから高齢者までみんなで見守る地域づくり

**事業名** ( 民話狂言「くわばら」初披露公演 )

<b>団体名</b>	能楽と郷土を知る会			<b>代表</b>	吉川 真梨		
<b>協働団体</b>	なし						
<b>活動地域</b>	三田市						
<b>事業の目的・趣旨</b>	<p>摂津国有馬郡（兵庫県三田市～神戸市北区）は室町時代以来、能楽と深いゆかりのある地域として知られている。当会がかねてより、旧有馬郡地域における芸能の歴史の掘り起こしや、現代への普及・定着活動を行ってきた。</p> <p>今年度は、新たな地域文化の創生を目的として、三田市桑原の欣勝寺に伝わる、「かつて雷が落ちてきて、寺の住職に戒められて以来、『くわばら』は雷除けの呪文になった」という民話をもとに、狂言を新作し、プロの狂言方能楽師による上演を行った。この新作狂言の上演はあくまで一つの段階であり、将来的には、子ども教室を開催し、地域子どもたちによる上演を目指している。</p>						
<b>事業内容</b>	<p>民話狂言「くわばら」初披露公演および動画収録          開催日時：令和2年11月14日(土)14時30分          開催場所：三田市フラワータウン市民センターホール（三田市武庫が丘7丁目3-3-1）          内容：狂言の解説 民話狂言（新作）《くわばら》の上演 古典狂言《二人袴》の上演 欣勝寺住職による挨拶          出演：能楽師狂言方大蔵流、善竹忠重氏一門「志芸の会」</p> <p>※元々は観客を入れて上演する予定だったが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、参加者及び関係者の健康・安全面を第一に考慮した結果、「新作狂言を上演できる状態にまで完成させたうえで、関係者のみを観客とした状態で上演し、記録動画を収録してWeb上に公開する」方法で実施した。</p> <p>なお、欣勝寺住職による挨拶は前日13日(金)に、欣勝寺本堂にて別に収録した。</p>						
<b>事業スケジュール</b>	<b>実施日（年-月-日）</b>			<b>事業概要</b>		<b>参加人数（人）</b>	
						<b>スタッフ</b>	<b>来場者等参加者</b>
	2020	5	2	実行委員・出演者	第1回協議（オンラインにて）	4	
		5	9	新作狂言	台本読み合わせ（オンラインにて）	4	
			18	新作狂言	台本読み合わせ（オンラインにて）	4	
		6	5	新作狂言	打ち合わせ	5	
		7	4	新作狂言	打ち合わせ・演出案作成	5	
			26	新作狂言	立ち稽古、型・演出再作成	5	
		8	7	会場下見、能舞台組立案作成		2	
			29	新作狂言	立ち稽古、型・演出再作成	5	
		10	12	新聞取材		1	1
			24	新作狂言	立ち稽古、型・演出再作成	5	
			7	新作狂言	最終稽古、当日段取り確認	5	
	11	13	新作狂言ゆかりの地	欣勝寺 住職挨拶 動画撮影	2	1	
		14	新作狂言	初上演・撮影	17	40	

<p><b>事業効果</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者及び関係者の伝統文化に対する関心を高めることができた。</li> <li>・神戸三田地域が伝統文化ゆかりの地であることを広く PR することができた。</li> <li>・地域ゆかりの物語をテーマにすることで、地域の歴史・民話に興味を持っていただくことができた。</li> <li>・他地域からの流入者が多い神戸三田地域において、伝統文化を体感することで地域の歴史に関心を持ち、地域への愛着心を持っていただくことができた。</li> <li>・新作狂言を上演できる状態にまで完成させ、子どもたちに能楽の指導を行う土台づくりができた。</li> </ul>
<p><b>課題及び今後の展望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の中であったため、告知をすること自体が憚られる部分もあり、当初の計画より限定的な広報となった。今回撮影した動画をもとに、当会の事業の成果と今後の活動をより多くの方に知っていただきたい。</li> <li>・今回新たに制作した狂言《くわばら》の初上演に関わったプロ狂言方を講師として、地域の子どもたちに指導を行い、子どもたちが生きた形で地域の歴史、民話に触れる機会を設けていきたい。</li> </ul>

(活動状況写真)



2020/9/28 新作狂言《くわばら》稽古



2020/11/7 新作狂言《くわばら》稽古



2020/11/14 新作狂言《くわばら》初演・動画撮影



団体名

能楽と郷土を知る会

団体設立

西暦 2016 年 3 月 20 日

活動分野

芸術文化・歴史

設立目的

能楽は江戸時代には武家の式楽（儀式の際の楽劇）とされ幕府を始め諸大名でも盛んに愛好・上演された。「能楽と郷土を知る会」はそれぞれの地域に伝わる能楽の記録や記憶を掘り起こし、地域の歴史意識と一体にして広めることを活動目的とする。



事業名		( 波豆川村史改訂再編発刊事業 )				
団体名	波豆川区			代表	今西 庸市	
協働団体	波豆川村誌再編集委員会					
活動地域	三田市					
事業の目的・趣旨	昭和50年に発刊された波豆川村誌であるが、45年を経過して各戸配布した個人所有本も現存数が確認できるかぎり減少している上に、蔵書してあったはずの市立図書館にも現物が無い状態になっていることがわかり、当地区の歴史を後世に残すべく、再発刊をすることにした。					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 波豆川村誌の再発刊</li> <li>・ 誤字脱字の訂正</li> <li>・ 新たにわかった事実の追加</li> <li>・ 昭和28年に当地を襲った大水害の記録の追加</li> <li>・ 当地に残る風俗の記録</li> </ul>					
事業スケジュール	実施日(年-月-日)			事業概要	参加人数(人)	
					スタッフ	来場者等参加者
2		7	15	再編集委員会の立上	8	1
		7	20	原書の確認作業	3	1
		7	25	現地確認及び紙面構成	3	1
		8	20	装丁案作成	1	
		8	25	装丁案確認	3	1
		9	10	装丁案校正作業	3	1
		9	30	印刷原案作成	3	1
		10	10	印刷業者納入	1	
		10	15	印刷業者から校正案提示	1	
		10	20	納品遅れの連絡	1	
		12	25	納品	1	
		12	25	配布	8	

<b>事業効果</b>	波豆川地区の歴史の再認識をすることにより、地域住民に改めて地元愛が芽生え、また関係各所に配布することにより、波豆川の良さを広報することができた。
<b>課題及び今後の展望</b>	小規模な集落とはいえ、今回の作業では拾いきれなかった事柄が多数あると思うので、これを機会に今後、さらに情報収集や情報交換を行い、さらに新し冊子を出せるように活動していきたい。

(活動状況写真)



7/25現地調査



7/23情報交換

団体名 波豆川区

団体設立 西暦 1983 年 4 月 23 日

活動分野 まちづくり・環境保全・地域安全など

設立目的 良好な地域社会の維持に資する地域的な共同活動を目的とする。

<b>事業名</b>	( 親子支援事業「はたけであそぼう！」 )
------------	-----------------------

<b>団体名</b>	ふれあい活動推進協議会武庫小校区	<b>代表</b>	弘田 恒子		
<b>協働団体</b>	武庫小校区まちづくり連絡協議会				
<b>活動地域</b>	三田市武庫小校区				
<b>事業の目的・趣旨</b>	<p>昨年度から引き続き、武庫小校区の多世代を対象にした事業である「はたけであそぼう！」を継続して実施しました。</p> <p>参加者の方には、近隣農家から借用した休耕田を活用し、季節に応じた野菜を植え育てることで、植物を育てる楽しみや収穫の喜びを味わっていただきました。また、日頃畑での活動を体験することのないニュータウンの子どもたちに、自然の不思議や素晴らしさを体験する機会を作るとともに、収穫した野菜を使用した親子クッキングを開催することで、自ら育てた野菜を味わっていただけたと思います。</p>				
<b>事業内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 季節の野菜（玉葱、じゃがいも、夏野菜、さつまいも、黒枝豆、大根、白菜等）を育て、成長過程を見たり自然とのふれあいを楽しんだりして収穫の喜びを体験してもらいました。</li> <li>・ 今年度からの取組で、武庫小学校児童にチラシを配り、年間を通して親子で畑の活動に参加を希望する会員を募集しました。</li> <li>・ 関西学院大学都市研究会「三田を知ってもらい隊」の協力を得て、収穫したさつまいもでおやつクッキングを行い、多世代の参加者同士の交流と親睦を深めました。</li> </ul>				
<b>事業スケジュール</b>	<b>実施日（年-月-日）</b>	<b>事業概要</b>	<b>参加人数（人）</b>		
			<b>スタッフ</b> <b>来場者等参加者</b>		
	2020	5 14	さつまいもの苗植え	6	
		5 30	玉葱収穫	8	
		6 17	じゃがいも収穫	9	
		6 27	黒豆植え、夏野菜の収穫	7	
		8 2	会員と夏野菜収穫	6	10
		8 8	会員と夏野菜収穫	3	2
		9 22	会員と冬野菜植え付け	6	5
		10 17	さつまいもほり	12	10
		10 19	枝豆狩り	9	2
		11 7	さつまいもクッキング	7	12
		11 15	会員と玉葱の苗植え	9	5
		12 6	会員と冬野菜収穫	6	9
	2021	1 17	冬野菜収穫	3	

<p><b>事業効果</b></p>	<p>「はたけであそぼう！」会員募集に親子7組の希望があり、募集開始した7月以降、月1回の活動を楽しんでいただきました。10月のさつまいも掘りは雨天にもかかわらず、大きなさつまいもをほって歓声をあげる子どもたちの姿が見ることができ励みになりました。11月のさつまいもクッキングは大学生4名の協力も得られて、楽しく活動することができました。</p> <p>今年度はコロナ禍のため屋内での活動は自粛しましたが、畑という自然の中での活動は密を回避でき有意義な活動ができたと思います。</p>
<p><b>課題及び今後の展望</b></p>	<p>畑の準備や草取り等の管理のため一部の委員にかなり負担がかかっているのが現状です。来年度からはふれあい活動推進協議会のメンバー以外にも畑サポーターを募集して畑の活動を進めていきたいと思ひます。</p>

(活動状況写真)



団体名 ふれあい活動推進協議会武庫小校区

団体設立 西暦 2007年 4月1日

活動分野 地域まちづくり・子育て支援

設立目的 「福祉でまちづくり・地域づくりを推進する」

- ・見守り つながり 支え合い を重点項目とする。
- ・地域の高齢化が進んでいく中で日々の生活の困りごとを解消するため、地域交流の場を提供するとともに支援活動に取り組む。

## 事業名

(芋掘り体験をしよう)

団体名	阿古谷みらい協議会			代表	仲井 常雄	
協働団体						
活動地域	阿古谷地域					
事業の目的・趣旨	<p>少子化が著しい阿古谷地域に、お子さんにきていただき、芋掘りなどしてもらい交流を深める。</p> <p>里山の良さを近郊の若い世代にアピールする。</p> <p>秋の阿古谷地域を満喫してもらえるイベントを行い、地域のファンづくりをする。</p>					
事業内容	<p>猪名川甲英高等学院グラウンドにて集合・受付をし、名札を付けてもらう。</p> <p>飲みものを選んでもらい、参加費をもらう。</p> <p>そのあと車で先導し、近くの農地まで移動。</p> <p>会長による挨拶と説明のあと、芋のつる切りから、芋掘りをしていただき、近くの川で掘った芋を洗い持ちかえってもらう。</p> <p>希望者は柿とり体験をしてもらい、柿も持ちかえってもらう、それぞれ帰路につきました。</p>					
事業スケジュール	実施日(年-月-日)			事業概要	参加人数(人)	
					スタッフ	来場者等参加者
	2020	5	3	農地耕耘	2	25
		5	10	施肥	2	
		5	17	施肥	2	
		5	23	農地耕耘	2	
		5	24	芋つる植付け	2	
		5	28	獣害ネット設置	4	
		7	13	中耕	2	
		8	7	草引き	2	
		9	5	草引き	2	
		9	6	追肥	2	
		10	7	阿古谷みらい協議会のFBページにイベント募集の記事をアップ	1	
					1	
	10	14	郵送物送付	1		
	10	23	収穫準備	2		
	10	25	当日	7		

事業効果	<p>地域の農業者が生産したさつまいもを、都会の子どもたちに掘ってもらい、たのしんでもらう。</p> <p>里山の良さと、自然の恵みを満喫してもらおう。</p>
課題及び今後の展望	<p>コロナ対策がしっかり出来たのは良かった。</p> <p>最後に名札と芋を交換という形にしたが、名札が汚れてしまった。</p> <p>今後も芋掘りはしていきたい。</p>

(活動状況写真)



団体名 阿古谷みらい協議会

団体設立 西暦 2016年 3月 1日

活動分野 まちづくり

設立目的 本協議会は、阿古谷地域を中心とする猪名川町の農業や観光事業及び福祉事業の活性化を積極的に推進し、都市農村共生・対流事業を行うことを目的として平成28年3月に発足しました。

**事業名** ( 猪名川の魅力発見、微笑みの里巡り )

<b>団体名</b>	猪名川町観光ボランティアガイドの会	<b>代表</b>	西尾 圭子			
<b>協働団体</b>	元気ファーマいながわ、JA 兵庫六甲いな郷グループ					
<b>活動地域</b>	猪名川町					
<b>事業の目的・趣旨</b>	<p>当会は、猪名川町の歴史文化や自然風土を紹介することを通じ、「猪名川町」への理解と愛着を深めていただき、町の発展に寄与することを目的としている。この目的に則り、地域の新しい魅力を発見するモニターツアーを開催する。</p> <p>今年度は、猪名川町有形文化遺産である木喰仏の見学や、都市近郊農業のモデルである元気ファーマいながわの方を講師に招致して野菜収穫体験を実施した。</p> <p>これらの取組を通じて地域を活性化していくとともに、幅広い年齢層の交流を促していきたいと考えている。</p>					
<b>事業内容</b>	<p>猪名川町の魅力発信を目的とした、日帰りモニターバスツアーを開催した。「野菜収穫体験と微笑仏を訪ねて」をテーマに、令和2年11月29日(日)にオープン参加の手配旅行形式で実施。</p> <p>●事業内容(行程)          日生中央集合8:30=9:00阿古谷毘沙門堂(木喰仏)10:00=10:30ふるさと館(猪名川町の歴史紹介・木喰仏)11:30…ふるさと館集会室・昼食(地元加工グループの「いな郷グループ」による弁当)13:00=*ガイドによる大河ドラマ「麒麟がくる」ゆかりの佐保姫伝説紙芝居上演=13:15道の駅いながわ..天乳寺..元気ファーマいながわ収穫体験..道の駅15:30=日生中央16:00          なお、見学箇所の道路が狭いため、中型バスを利用して実施した。</p>					
<b>事業スケジュール</b>	<b>実施日(年-月-日)</b>		<b>事業概要</b>	<b>参加人数(人)</b>		
				<b>スタッフ</b>	<b>来場者等参加者</b>	
	2	7	11	役員会(企画ツアー打ち合わせ 募集・催行)	8	
	2	10	25	定例会(募集、催行体制確認)	15	
	2	10	25	(情宣活動)広報いながわ掲載 チラシ掲出	5	
	2	11	13	役員会(実施体制打ち合わせ)	8	
	2	11	29	猪名川の魅力発見、微笑みの里めぐりツアー	7	5
2	12	8	役員反省会 実績報告書作成	8		

<p><b>事業効果</b></p>	<p>猪名川町内で活動している他の団体と協働して企画を作ることにより、町全体での一体感が醸成できたと思う。 また、参加者からは好意的な意見が多く寄せられており、猪名川町民の方に地元の隠れた魅力を発見していただくことができた。</p>
<p><b>課題及び今後の展望</b></p>	<p>今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、募集媒体を広報誌、チラシの限定したうえ、募集期間も当初より短縮することとなった。その結果、参加申込が10名未満と少なくなった点が課題であると認識している。 今後の新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、来年度以降はどのように事業を実施することが望ましいかを検討していきたい。</p>

(活動状況写真)

KR 観光バス (中型)



11/29

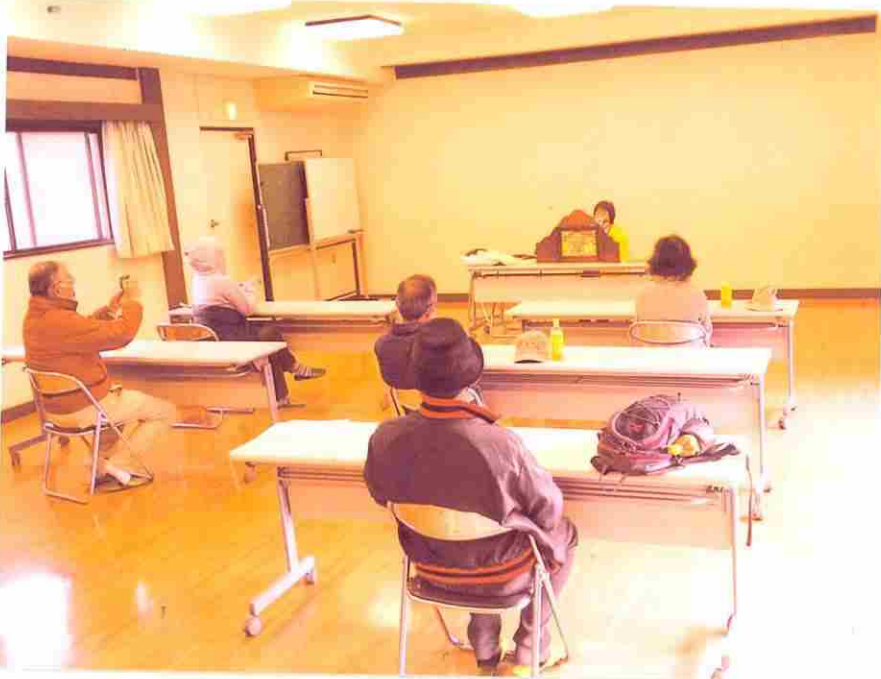
阿古谷毘沙門堂 (木喰仏)



11/29



紙芝居（ふるさと館）



11/29

元気ファーマ（収穫体験）



11/29

**団体名** 猪名川町観光ボランティアガイドの会

**団体設立** 西暦 2007 年 4 月 1 日

**活動分野** 社会教育 町づくり

**設立目的** 猪名川町を訪れる方々に、郷土の歴史文化や自然風土を会員自らのボランティア精神をもって温かく案内することを通じ、「猪名川町」への理解と愛着深めていただき、町の発展に結びつけることを目的とする。

## 事業名

 (あわてんぼうのクリスマス★ナイト 2020)

<b>団体名</b>	いながわリンク	<b>代表</b>	田尻 紗津			
<b>協働団体</b>	川西・猪名川プエル応援隊、猪名川町(後援)					
<b>活動地域</b>	猪名川町、川西市					
<b>事業の目的・趣旨</b>	<p>猪名川町内では4月にいながわ桜まつりライトアップ、6月に竹キャンドルナイト、8月に天然のイルミネーション星まつり等があるが、冬場は寒さが厳しくなり人が出にくくなるためイベントも少なく交流も減る。住民有志で2014~2015年に猪名川町総合公園にて催されたが金銭工面や会場の使用条件などで終了。その後2016~2018年に町役場主催で大野山にて開催も2019年の継続はしない事が決定。イルミネーション資材が寄附であり開催続行を希望する声を受けて2019年今回の場所に変えいながわリンク主催で開催。2020年からは過去の経緯もふまえて町の既存イベントなどとも結びつけることで、四季を通して「灯りでつなぐ猪名川町」としてさらなる活性を目的としている。</p>					
<b>事業内容</b>	<p>【設営】 ■日時：2020年12月11日(金)9:00~17:00  【開催】 ■日時：2020年12月12日(土)・12月13日(日)(共に 16:00~20:00)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■会場：能勢電鉄日生中央駅前 日生中央・人の広場</li> <li>■来場者実績：12日 300人 / 13日 200人</li> <li>■イルミネーション：約 10,000 球 ペットボトル雪だるまん：約 50 体</li> <li>■出演(音楽・パフォーマンス等)：12日 4 団体 計約50名 13日 5 団体 計約50名</li> <li>■出店(飲食・ワークショップ等)：8 店舗×2 日(内、2 店コロナの影響で出店キャンセル)</li> </ul> <p>【撤去】 ■日時：2020年12月14日(月)9:00~14:00</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●出店者団体のひとつである「川西・猪名川プエル応援隊」の主要メンバー約10名がイルミネーションの設営・撤去ともに協力。</li> <li>●コロナ対策として追跡システムの掲示の他、時間ごとに会場消毒や見廻警備の役務を取り入れた。</li> </ul>					
<b>事業スケジュール</b>	<b>実施日 (年-月-日)</b>		<b>事業概要</b>	<b>参加人数 (人)</b>		
				<b>スタッフ</b>	<b>来場者等参加者</b>	
	20	6	1	ミーティング(イベント概要決定)	4	
	20	7	10	ミーティング(スケジュール確認)	4	
	20	8	7	ミーティング(担当割)	4	
	20	9	11	出店・出演募集開始	3	
	20	10	9	出店・出演決定、告知情報調整	4	
	20	11	6	チラシ制作・告知開始	4	
	20	11	21	1 回目コロナ対応調整・備品確認	6	
	20	11	29	フォトブース等装飾制作	8	
	20	12	8	2 回目コロナ対応調整・協賛金依頼	3	
	20	12	10	雨天時対応調整	3	
	20	12	11	イルミネーション設営	15	
	20	12	12	開催1日目	8	300
	20	12	13	開催2日目	8	200
20	12	14	イルミネーション撤去	15		
20	12	19	各所精算・書類まとめ	4		

<p><b>事業効果</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・撤去時に通りすがりの高齢者の方に「ようやってくれた！癒された！ありがとう」と声をかけていただき、街並みだけでなく道行く人々の心にも温かさを灯すことができた。</li> <li>・映画告知(ペル)の企画にも合わせたことにより、来場者だけでなくボランティアや出店・出演者同士の一体感を生み出し、地域のつながりをより強くすることができた。</li> <li>・6年前からの寄付資材でのイベントを絶やさずに繋げることができ、準備の中で20年前にも同町で行われていたというイルミネーションイベントの主催の方からも話を伺うことができたり、資材を寄付された住民のお孫さんが大学生になって準備に初参加されたりと、時代の繋がり・世代の繋がりを叶えることができた。</li> <li>・出演者の多くがコロナ禍で発表の機会が失われている中、貴重で思い出深いと喜んでもらえた。</li> <li>・猪名川町だけでなく川西市、豊能町、池田市、西宮市、神戸市からの出店・出演があり、他市町村との交流も促進できた。</li> </ul>
<p><b>課題及び今後の展望</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の季節のイベントも紹介することで、四季を通じた町民のシビックプライド(地域への愛着と誇り)の効果をあげる事も目的としていたが、今年はコロナの影響で他のイベントの中止が相次いだため、紹介までに至らなかった。</li> <li>・基本的なコロナ対策の徹底は行っていたが、変化の激しい状況の中で出店・出演者への連絡と一般公開発表のタイミングに神経を使い続ける結果となった。雨天時の対応ともに判断と発表の基準を事前に決定しておければ良かったが、難しかった。</li> <li>・次回以降、スケジュールと内容をもう少し早めによりしっかり組めれば、より多くの協力参加が見込めて一層の交流に繋がるだろうと期待する。</li> </ul>

(活動状況写真1) ■設営・撤収風景 協力/川西・猪名川ペル応援隊、住民ボランティア



■イルミネーション装飾 今年も町役場資材もお借りして昨年より豪華な飾り付けが叶いました。当時に寄付くださった住民の方のお孫さんとその友達が、時を経て大学生になって設営に参加されるという心温まるエピソードも。



## (活動状況写真2)

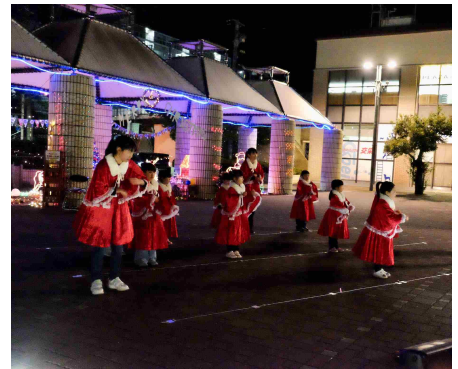
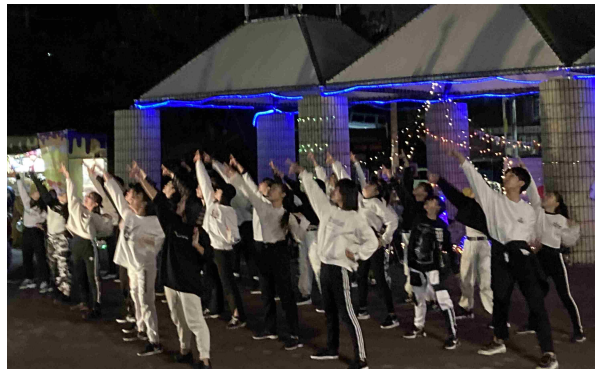
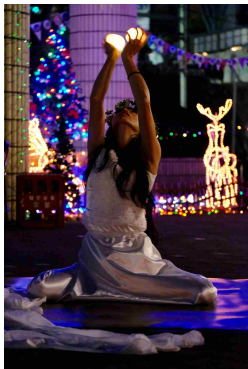
### ■出店

コロナ対策を講じて、飲食はテイクアウト仕様を義務化し、全店に兵庫県コロナ追跡システムのPOP掲示、消毒液設置、金銭のトレー受渡しの徹底を指示しての実施でした。

またネットヨタからリージョナルカーをレンタルして本部に設置使用しました。



■出演 ラインを引き、観客との距離を保つよう工夫しながら音楽演奏・ダンス出演を行いました。飛び入りの川西緑台高校ダンス部の出演時は来場者のピークを迎え、一時密状態が懸念されたため、スタッフの声かけによるソーシャルディスタンスの啓発に努めました。



■その他 町役場で提供いただいた昨年度の風船やレンタルしたいなぼうも子どもたちに大変喜ばれました。

■イベント総括 コロナ禍や天候による不安が大きいタイミングでしたが、おかげさまで無事に実施することができました。設営・撤収には他団体(商工会青年部、プエル応援隊、大学生など)の参加もあり、声かけによる資材や収納ケースも新たな寄付もあり、出演出店による町内や近隣地域との交流の広がりもより実感できる形となりました。ぜひ来年や他のイベントにもつなげていきたいと思っています。



団体名

いながわリンク

団体設立

西暦2019年 9月 1日

活動分野

まちづくり、社会教育、芸術文化・歴史、子ども育成、経済活性

設立目的

猪名川町内で「つくる・つなぐ・つどう」をテーマに活動。たくさんの人と一緒にこのまちのことを考えて、たくさんの人と一緒にこのまちを楽しみたいという有志が集まっています。地域の可能性を見出せるようなミーティングや、笑顔になれるイベントを行いながら活性と交流(地域・世代)を目指しています。

## 事業名

## (地域の魅力発信地域情報誌「tocotoco」発行 &amp; 女性向け地域活性化セミナー )

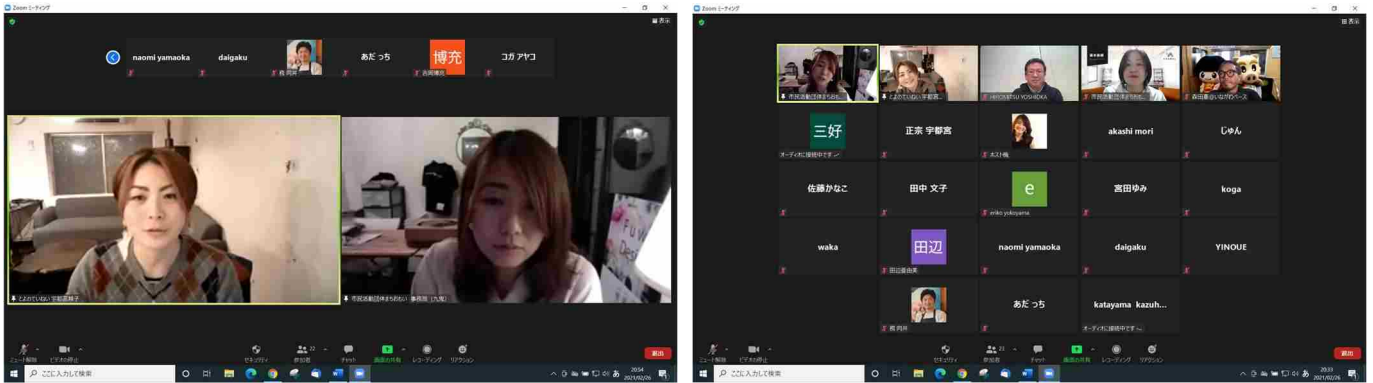
団体名	市民活動団体 machiomoi	代表	九鬼 麻衣
協働団体	特になし		
活動地域	川西市・猪名川町		
事業の目的・趣旨	<p>川西市・猪名川町を中心とする阪神北地域の魅力を広く発信する。          子育て世代の女性の目線で「まちの魅力・そこで暮らす人の想い」を丁寧に洗い出し、読者の地域に対する理解と愛情を深め、人と人の交流を促進する。</p>		
事業内容	<p>①地域情報誌「tocotoco (とことこ)」の発刊及びそれに係る記事          内容の調査・取材          (時期) 2021年3月発刊          (構成) A5版冊子、16P          (部数) 5,000部          (内容) 川西市・猪名川町を中心とする地域の紹介。人やモノ、場所に焦点を当てながら、子育て世代の女性の目線で「良い」「知ってもらいたい」と思うものを紹介する。コンセプトは「人とまちと想いをつなぐ」とし、広告協賛によらない掲載情報の取捨選択と、それを読んだ人が「こんなまちを歩きたい、こんな人とつながりたい、こんな想いで取り組まれているものなら大切にしたい」と感じてもらえる情報誌の制作。取材・撮影・編集作業までのすべてを自分たちで手づくりし、協力いただける設置場所(地域内の店舗や公共施設などを予定)に配布する。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、イベントなどの情報掲載が難しかったり、取材に赴くことが困難であり、当初予定より大きく発刊予定がずれ、内容変更などもあったが、コロナ禍であっても前向きに地域を盛り上げていきたいと考える団体や事業所などを取り上げることができた。</p> <p>②SNS等を活用した情報発信          取材などで知りえた地域の情報についてFacebook、HPなどを活用し、情報発信を行う</p> <p>③女性向け地域活性化セミナー〔新規事業〕          大阪府豊能町で「一般社団法人とよのていねい」を設立し、WEBメディアを展開しながら様々なイベントなどを企画している宇都宮頼子氏を講師に招き、ロールモデルとしてセミナーを開催。活動のポイントや展開のしかた、社団法人設立の経緯などを話していただき、川西・猪名川地域で地域に関わりたいと考えている女性や起業者向けセミナーとして、学びと交流の場を提供した。参加者20名。オンライン(Zoom)での開催となった。</p>		

	実施日（年-月-日）		事業概要	参加人数（人）	
				スタッフ	来場者等参加者
	事業 スケジュール	2020	7 ～ 3	紙面構成、取材計画 （月に1回定例打合せなど）	3
2021		1 23	オンラインセミナー企画会議	3	
		2 24	〃 事前打合せ		
		2 26	オンラインセミナー開催 「ローカルで居心地の良さ」を作っていく 講師（一社）とよのていねい 宇都宮頼子氏 冊子 tocotoco 発刊、各店配布	2	20
		3		3	

事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5,000 部の地域情報誌発刊による読者の方々への地域内の魅力発信、情報伝達を行うことができた。取材の過程で、コロナ禍での地域や生活、人々の意識の変容などをとらえることができ、またその中でも人とのつながりを大切に活動する団体やお店などを紹介することができた。</li> <li>・ SNS 活用による魅力発信に取り組んだ。</li> <li>・ 地域内での新たな情報発信ツールを確立した。</li> <li>・ 地域活性化に寄与したいと考える人の学びの場の提供（オンラインセミナー）を行うことにより、参加者同士にもつながりが生まれた。参加者は、当初狙った女性層とはならず、男性で地域づくりに参加したい（している）方が多かったが、「今後の活動の参考になった」「実際にとよのていねいさんを訪れてみたい」等の意見が寄せられた。</li> </ul>
課題及び今後の展望	<p>本年度も、本来はオンラインではなく顔を合わせてのセミナーを開催したいと考えており、ギリギリまで機会を待ちましたが、感染症の拡大から困難と判断しました。次年度はタイミングを見て、屋外で実際に地域活動をする方々が集う場づくりを行いたいです。地域情報誌に関しては、今後も継続して発行を続けていきます。</p> <p>そのほか、川西市、猪名川町、伊丹市それぞれでマルシェの開催を行っており、まちのにぎわいづくりと起業支援を展開していきます。</p>

(活動状況写真)

オンラインセミナーの様子



冊子編集の様子、完成冊子配布



**団体名** 市民活動団体 machiomo i

**団体設立** 西暦 2019 年 3 月 1 日

**活動分野** まちづくり

**設立目的** 本会は、川西市・猪名川町・能勢町・豊能町を核とした北摂地域を中心に、交流の場を創造することで、地域活性化に寄与することを目的とする。

事業名 ( 妊産婦の不安と孤立感の解消を目指した「My 助産師」普及啓発事業 )				
団体名	ママのねフェスタ実行委員会		代表	古宇田 千恵
協働団体				
活動地域	川西市・猪名川町・能勢町・豊能町			
事業の目的・趣旨	<p>昨今の少子化・核家族化・地域コミュニティの希薄化に伴い、これまで以上に妊産婦が不安と孤立感を抱えているという現状がある。さらに、近年は各地で産科医療施設の分娩休止が相次いでおり、川西市内の総合病院でも分娩休止が決定する中、川西市をはじめとする近隣市町の住民は不安を強めている。</p> <p>他方、川西市には、世界保健機関が「ポジティブな出産体験のための分娩期ケア」(WHO 2018)として推奨する継続ケアを実践する「My 助産師(妊娠初期から出産・産後にかけて継続的に寄り添うかかりつけの助産師)」が存在している。</p> <p>しかしながら、その存在とメリットが、地域の妊産婦にほとんど知られていないという課題がある。当団体は、自分たちが My 助産師のケアを受けた体験をもとに、My 助産師の存在とそのメリットを地域住民に伝えることで、妊産婦が My 助産師と出会う機会を増やし、妊産婦の不安と孤立感を解消するとともに、安心して子どもを産み育てる地域づくりに資することを目的としている。</p> <p style="text-align: right;">WHO(2018)『WHO 推奨：ポジティブな出産体験のための分娩期ケア』</p>			
事業内容	<p>妊産婦の不安と孤立感の解消を目指した「My 助産師」普及啓発事業</p> <p>1) 「My 助産師」の必要性とメリットを紹介するリーフレットの制作と地域住民や子育て支援機関などへの配布</p> <p>2) 「My 助産師」の必要性とメリットを楽しみながら知ることのできるカードゲームとすごろくの制作と地域住民や子育て支援機関などへの配布</p> <p>当初は動画制作と動画配信を事業の一部として予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大している状況を受け、令和 2 年 10 月 5 日に開催した第 4 回実行委員会にて協議した結果、動画撮影の際に関係者の健康・安全を確保することは困難であり、動画制作は困難であるという結論を得た。その結果、動画配信の実施も困難となったため中止とした。</p>			
事業スケジュール	実施日(年-月-日)	事業概要	参加人数(人)	
			スタッフ	来場者等参加者
	2・4・30	第 1 回実行委員会：各プロジェクトのスケジュール検討	7	
	2・5・7	プロジェクト会議：リーフレット	4	
	2・5・14	プロジェクト会議：カードゲーム・すごろく	5	
	2・5・21	プロジェクト会議：動画	5	
	2・5・28	第 2 回実行委員会：パロッド版の確認(動画除く)	7	
	2・6・5	プロジェクト会議：リーフレット	5	



	2・6・8	プロジェクト会議：カードゲーム	5
	2・6・15	プロジェクト会議：すごろく	4
	2・7・6	第3回実行委員会：ハイドット版 Ver. 2 の確認	7
	2・7・13	プロジェクト会議：すごろく	4
	2・7・21	プロジェクト会議：リーフレット	4
	2・8・3	プロジェクト会議：リーフレット	4
	2・8・17	プロジェクト会議：カードゲーム、すごろく	5
	2・8・24	第3回実行委員会：ハイドット版 Ver. 3 の確認	8
	2・8・31	デザイナーとの打合せ	3
	2・8・31	プロジェクト会議：リーフレット	4
	2・9・14	プロジェクト会議：すごろく	4
	2・9・28	プロジェクト会議：動画	5
	2・10・5	第4回実行委員会：動画制作中止の検討	7
	2・10・12	プロジェクト会議：リーフレット、すごろく	4
	2・10・19	プロジェクト会議：すごろく、カードゲーム	4
	2・10・26	プロジェクト会議：すごろく、カードゲーム	5
	2・11・2	第5回実行委員会：SNSによるリーフレット紹介の確認	7
	2・11・3	SNSによるリーフレットの紹介	2
	2・11・4	川西市役所にリーフレット郵送	1
	2・11・9	プロジェクト会議：すごろく	4
	2・11・10	丹波新聞取材	4
	2・11・16	プロジェクト会議：すごろく	4
	2・11・30	第6回実行委員会：すごろく・カードゲームの確認	5
	2・12・14	川西市担当職員にすごろく説明	2
		プロジェクト会議：カードゲーム	5
	2・12・21	猪名川町担当職員にリーフレット説明	2
		カードゲームの印刷	3
		第7回実行委員会：配布状況報告、反省会	7
	2・12・22	丹波新聞取材	4
	2・12・28	実績報告書作成	3
<b>事業効果</b>	<p>My 助産師普及啓発リーフレットを 2000 部印刷し、川西市の公共施設（アステ市民プラザ子育て支援ルーム、キセラ川西プレイルーム、こども支援課窓口、幼児教育保育課窓口保育所、こども園プレイルーム5カ所）、しまぎ助産院（川西市）、猪名川町の子育て支援センターなどに設置していただいた。すごろくとカードゲームを各 15 部印刷した。新型コロナウイルス感染予防のため当面の間すごろくやカードゲームを対面で実施することはできないが、川西市のこども・若者ステーションにすごろく盤を掲示していただいた。</p> <p>また、当事業について丹波新聞から取材を受け、丹波新聞と Yahoo ニュースに掲載された。</p>		
<b>課題及び今後の展望</b>	<p>阪神間での My 助産師のさらなる普及啓発を目指し、プレママだけでなくプレパパを対象としたゲームを作成する。阪神北地域で My 助産師として活動する助産師のリストを作成する。自立的な運営体制に向けて、資金面での支援者を広げていく。また、新型コロナウイルス感染の収束後には、すごろくやカードゲームなどを取り入れた、参加費を徴収する講座やイベントを開催したいと考えている。</p>		

(活動状況写真)



10月19日プロジェクト会議



川西市市役所に設置されたリーフレット



丹波新聞取材 (ママのねすごろく)

団体名	ママのねフェスタ実行委員会
-----	---------------

団体設立	2019年10月18日
------	-------------

活動分野	子育て支援
------	-------

設立目的	「ママのねフェスタ in 黒川」を開催することにより、委員会が活動する地域内の子育て中の親と子育て支援者の交流の輪を広げ、地域住民が互いに支えあう子育て環境の充実を図る。
------	---------------------------------------------------------------------------------------